

「健康相談会」 1～4月に道内26会場で101人

今年1～4月の「健康相談会」（建退共・健康相談会）は、函館支部・釧路支部（1～2月/既報）をふくめて道内26会場で101人からの相談を受けました。相談内容は、アスベスト疾患（遺族をふくめて）が57件、じん肺が16件、振動障害が28件、騒音性難聴が23件などで、アスベスト関連の相談が半数以上となっています。3～4月実施の9会場の詳細は次のとおりです。なお、十勝建設支部が4月26日に音更町で「建退共・健康相談会」をおこなう準備をすすめています。

【美幌・北見】16人～振動障害・4件/アスベスト・10件/アスベスト遺族・1件/騒音性難聴・5件/建退共・2件/その他・2件～受診予定（悩んでいる人も含む＝以下同じ）9（振動障害3/アスベスト4/難聴2）

【苫小牧】12人～振動障害・2件/じん肺・3件/アスベスト・6件/騒音性難聴・5件/建退共・1件～受診予定4（アスベスト2/難聴2）

【北広島】13人～振動障害・2件/じん肺・1件/アスベスト・12件/アスベスト遺族・4件/騒音性難聴・1件～受診予定・4（振動障害1/アスベスト2/難聴1）

【千歳】16人～振動障害・2件/じん肺・1件/アスベスト・8件/アスベスト遺族・4件/騒音性難聴・3件/その他・1件/受診予定・2（振動障害1/難聴1）

【旭川】9人（うち電話相談2人）～振動障害・3件/アスベスト・2件/騒音性難聴・1件

【富良野】2人～振動障害・1件/アスベスト・2件

【名寄】2人～じん肺・1件、アスベスト遺族・1件～受診予定2（じん肺1/アスベスト1）

【留萌】5人～じん肺・2件/アスベスト・2件/アスベスト遺族・1件

全国学童保育部会が子ども家庭庁要請

3月4日、全国学童保育部会は子ども家庭庁と「放課後児童健全育成事業にかかわる要請書」にもとづく要請をおこない、全国部会の三役（5人）のほか北海道本部から宮澤書記長が参加しました。要請では「補助基準額の積算根拠」や「待機児童数の算出に関する問題点」などについて意見交換したほか、全国各地で起こっている問題などについてやりとりしました。

北海道からは、昨年に引き続き処遇改善事業が使えないクラブが道内に多数存在していることを踏まえ、子ども家庭庁が公表している処遇改善事業の「自治体ごとの実施状況」については、「支援単位やクラブごとの実施状況について公表することが重要だ」と指摘しました。また、函館で「障がい児加配」が市から一方的にカットされた事例があったことについて子ども家庭庁の見解を求めました。担当者から「1支援単位あたり年額」「ひと月に満たない場合もひと月としてみなす」、「月割りで申請が可能」との回答を受けました。

また「放課後児童対策パッケージ2026」について、「学校敷地内のプレハブの検討を積極的におこなう」ことが盛り込まれており、「これまで建交労が要請してきたものと全く相反する内容だ。国が学童保育施策をきちんと示すことが重要だ」と質しました。要請の最後に、全国各地の問題について文書で提出するなど今後の交渉の在り方についても意見交換しました。